

年間学習目標	目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身につけさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。
	目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えながら文章に書く能力を身につけさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。
	目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身につけさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。

学期	学習計画(単元名)	学習内容
前期	1 自分の思いが伝わるように声に出して読もう ・メモを使って題材をさがそう ・文の組み立てに気をつけよう	●物語を読んで感じたことや考えたことが表れるように、声に出して読む。 ●連想によって言葉を広げ、書く題材を探す。 ●言葉の係り受けに理解を深め、意味が正確に伝わる文を書くことの大切さを知る。
	2 文章の構成を考えながら要旨を読み取ろう ・ゲストティーチャーをすいせんしよう ・漢字の由来に関心を持とう	●文章の構成を考えながら、要旨を読み取る。 ●理由を明確にして、人物を推薦するための話をする。 ●漢字の由来について知り、漢字の四つの成り立ちを理解する。
後期	3 物語の構成に気をつけて読もう ・意見とその理由を聞き取ろう ・熟語の構成を知ろう	●「設定」「展開」「山場」「結末」の部分を確認して、物語の構成をとらえる。 ●ふさわしい理由を挙げて意見を述べているか、考えながら聞く。 ●二字熟語について、語の構成から意味を推測できることを知り、その方法を理解する。 ●2つの新聞記事を読み比べて、書き手の意図を読み取る。
	4 書き手の意図を考えながら新聞を読もう ・立場を明確にして書こう ・古文を声に出して読んでみよう ・詩と俳句を味わおう ・パネル討論をしよう ・資料を読んで考えたことを書こう	●自分の意見が分かりやすく伝わるように、立場を明確にし、構成を考えて書く。 ●古文の冒頭を音読し、言葉の響きやリズムを味わうとともに、内容の大体を知る。 ●情景や心情を思い浮かべながら、詩や俳句を声に出して読み味わう。 ●自分の立場を明確にして、相手の意図を考えながら話し合う。 ●資料を生かして、自分の考えたことが伝わるように書く。
年間	1 物語のおもしろさを考えて読み味わおう ・ふしぎな世界へ出かけよう ・意味をそえる言葉に目を向けよう	●構成や表現の工夫に目を向けて、物語を読み味わう。 ●構成を考えて、場面の情景が伝わるように表現を工夫しながら筋道の通った物語を書く。 ●程度や限定、強調を表す言葉の働きや使い方を理解し、文のニュアンスをとらえる。
	2 森林について興味を持ったことを調べよう	●題名の工夫や述べ方に注意して読み、要旨を読み取る。
	3 ふさわしい方法を選んで発表しよう ・気持ちを伝える言葉について考えよう ・敬語を適切に使おう	●内容や目的に合わせて、効果的な発表方法を工夫する。 ●敬語の種類や役割を知り、適切な使い方を理解する。
	4 動物と人間のかかわりをえがいた物語を読もう ・古文に親しもう	●一つの物語をきっかけにして、関連するテーマの本を読み広げる。 ●古文とその解説文を読み、昔の人のものの見方や感じ方を知る。
	5 活動したことを伝える文章を書こう ・伝えよう、委員会活動	●目的に合わせて書くことを選び、構成を考えて書く。 ●組み立てを工夫して話し、話し手の思いをとらえながら聞く。
	6 メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう	●例と意見との関係に注意して筆者の考えを読み取り、読み取ったことをもとに自分の考えを書く。
	7 人間の生き方をえがいた伝記を読もう	●伝記を読み、人物の考えや生き方について考える。
書写	用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書く。 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書く。 毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く。	
総時数		138h

国語科の評価

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
国語を伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する関心を深め、適切に話したり聞いたり書いたり、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする。	目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話したり、相手の意図をつかみながら聞いたり、計画的に話し合ったりしている。	目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えながら文章に書いている。	目的に応じ、内容や要旨をと耐えながら本屋文章を読んでいる。	伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やきまり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字を書く目的や用紙全体との関係、点画のつながりなどに注意して書いている。

保護者の方へ

- 学習内容の定着を図るために、漢字スキルや学習プリントなどを活用します。家庭学習にも取り入れます。
- 基礎的な事項の定着に向けて、辞書の活用を習慣化し、学習した言葉を文中や日常生活の中で使えるように指導する。
- 読書活動が充実するように家庭でも読書の習慣づけをお願いします。